

きずな



我孫子市少年センター便り 第165号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 飯山初美
我孫子市少年センター センター長 戸塚美由紀

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

紫陽花の花が鮮やかな色を見せる季節となりました。市内では、6月1日から、「新たな生活様式」を踏まえ、学校が再開されました。その翌日には、小学校924名、中学校970名の新入生を迎えました。約3か月間の休校期間で、子どもたちは家での生活が中心となり、家庭学習や家事の手伝いなどを頑張ってきました。



政府による緊急事態宣言が解除されたとはいえ、「密」を避けることや、うがい手洗いをしっかりと行うなど、感染防止のための行動は今後も必要になります。また、今まで経験したことのない状況を受け、様々な不安や悩みを抱えている子どもたちもいるかもしれません。我孫子市少年センターも、子どもたちを取り巻く様々な状況に寄り添いながら、健全育成のために、保護者や地域の皆様とともに活動していきたいと思っております。引き続き、地域の子どもたちに「愛の一声」をかけていただくとともに、気になることがありましたら、少年センターまでご連絡ください。

我孫子市少年センター・職員紹介

センター長 戸塚 美由紀
センター職員 佐藤 幸男

センター職員 阪路 俊史
センター職員 松尾 奈緒美



我孫子市少年センターではこんな活動をします。

1. 我孫子市の青少年をめぐる現状と課題を把握し、改善方策を立案する。

- 学校教育と連携し、現状を把握する。
- 広報紙・HPを活用し、社会の中で規範意識を醸成するよう啓発及び情報提供をする。

2. 我孫子市の青少年が、良好な社会環境の中で自立できるように環境浄化に努める。

- 我孫子警察と連携し、青少年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止のため巡回を行う。
- 情報メディアを悪用した犯罪に巻き込まれないように青少年に届くメッセージを送る。

3. 我孫子市の青少年が、社会の中で良好な人間関係を築けるように指導する。

- 我孫子市少年指導員が、関係機関と連携して街頭指導や一斉活動を行い、深夜徘徊者等への帰宅指導や交通マナー遵守等の指導を行う。

学校再開後の子どもたちを守るために ~不安や悩みの増加とスマホ等の危険性~

市内の小中学校では、児童生徒の心を理解するために、アンケートの実施や面談等を行っています。今まで我慢していた分、友達と外出することが増えたり、ついつい話が盛り上がってしまったり下校時刻が遅くなったり、また、SNS等で交流したり、インターネットを使用する時間が増えたりと、地域やご家庭でも、子どもたちの変化に気付くことがあるかもしれません。そのような中には、子どもたちを狙った不審者の出現や、スマートフォンでのトラブルなど、危険が潜んでいることを忘れてはいけません。ご家庭でも話題にしてみてください。



地域みんなで見守りを！～我孫子市子ども見守り隊・こども110番の家～

昨年度の「我孫子市子ども見守り隊」の小学校での登録者数は、667名でした。隊員は発行された隊員証を下げ、日々子どもたちの登下校を見守っています。

今年度も小学校から登録の案内をします。これからも、多くの人たちの目で、子どもたちの安全を見守っていききたいと思います。



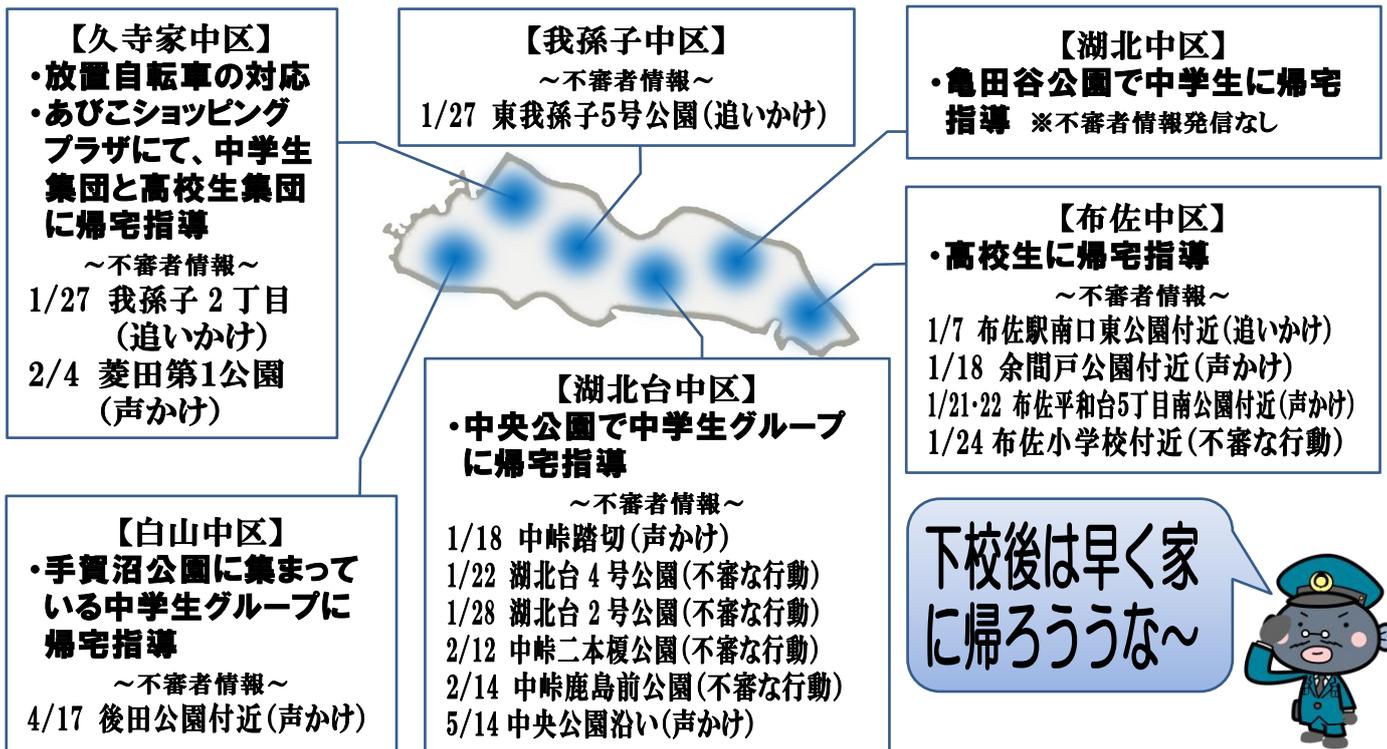
↓「こども110番の家」看板



↑子ども見守り隊隊員証

また、「こども110番の家」は、我孫子市のPTA連絡協議会が「子どもを不審者から守ろう」「安心して生活できる街づくりの推進」を目的として創設しました。昨年度の登録数は638件、利用件数は1194件でした。避難場所を確保するだけでなく、市民全体が子どもを見守ろうという意識の高揚を図る目的もあります。我孫子市及び少年センターもこの趣旨に賛同し、地域に理解と協力・連携を呼び掛けています。

〈1～3月の街頭指導実施状況・1～5月の不審者情報（少年センター発信）〉



交通安全への意識を ～「交通安全じゅうちょう」寄贈～

今年度も、ポラス株式会社様より、市内小学校1年生に、「交通安全じゅうちょう」が寄贈されました。このノートを手にするときに、少しでも交通安全について考えてもらえればよいと思います。

また、新入生たちが、新しい通学路を安全に登下校できるように、学校とともに地域でも見守りをしていきましょう。